

目標達成計画

作成日: 平成 30年 8月 25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	今後も本人本位の介護計画となるよう、思い・ニーズの把握に努める。	思い・ニーズをしっかりと引き出し、本人本位の介護計画を作成する。	日々のケース記録に、本人の言った何気ない言葉を残し、本人のニーズに繋がることに気付く訓練をしていく。・居室担当者が個々の思い、ニーズを引き出していくよう努める。	6ヶ月
2	49	外出では車椅子必要者も増え、全員や大人数での外出が難しく、回数も減っている。個々の状態に合わせた外出支援が必要となっている。誕生日個別外出を、全員年に1回は実施しているが、御家族とも協力し、個々のニーズに沿った外出支援をもっとおこなっていききたい。	個々のニーズに合わせた外出を多く行う。	近場など、個々に合わせた場所・人数での外出を、基本全員対象として行う。(遠出が難しい方は近場の外食・喫茶店なども可) 個々の思いを家族様にも伝え、家族様にも協力頂く。	1年
3	2	今後も地域密着サービスの理解と浸透への積極的な取り組みをおこなっていききたい。	地域密着サービスの理解と浸透への積極的な取り組みをおこなう。	引き続き運営推進会議等を通じて地域包括支援センターから情報を頂き、地域行事などの参加を積極的に行う。又、入居者様と共に地域行事などにも参加する。	1年

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。